# ２０２６年度　東京都立大学大学院
# 人文科学研究科　入学試験
# （９月入試）

| | |
|---|---|
| 教室名（分野名） | 心理学　教室 |
| 課程 | 博士前期課程 |
| 試験区分 | ☑　一般学生<br>□　外国人特別学生（留学生） |
| 試験科目名 | 専門分野基礎知識 |
| 出題の意図 | 心理学の諸分野の基礎知識を問うために出題した。 |

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

# 2026年度 人文科学研究科 博士前期課程
# 9月試験問題：専門分野基礎知識
# 心理学分野

・設問は、全部で12項目あります。そのうち5項目を選択して解答してください。

・項目ごとに、異なる解答用紙を用い、日本語で解答して下さい（固有名詞・略語などその限りではありません）。

・解答用紙の「授業科目」欄に、解答する項目番号を必ず記入して下さい。

・白紙で提出する場合も、解答用紙に項目番号と氏名を記入して提出して下さい。

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この問題用紙を持ち帰ってはいけません

# 2026 年度（ 9 月）人文科学研究科 博士前期課程試験問題
# 心理学分野：専門分野基礎知識

以下の 12 項目のうち 5 項目を選択し、それぞれについて説明しなさい。項目ごとに異なる解答用紙を用い、解答用紙の「授業科目」欄に 101, 102, 103　・・・などの項目記号を必ず記入すること。

101. 分離個体化理論
102. パーソナリティ検査
103. 系統発生と個体発生
104. 発達障害における二次障害
105. 標準化された平均値差
106. 対応のある 1 要因デザイン
107. 運動残効
108. スティーヴンスのべき法則
109. 情動二要因説
110. 顕在記憶と潜在記憶
111. 情報的影響と規範的影響
112. 行動的確証

# ２０２６年度　東京都立大学大学院
# 人文科学研究科　入学試験
# （９月入試）

| | |
|---|---|
| 教室名（分野名） | 心理学　教室 |
| 課程 | 博士前期課程 |
| 試験区分 | ☑　一般学生<br><br>□　外国人特別学生（留学生） |
| 試験科目名 | 論文 |
| 出題の意図 | 心理学の諸分野の研究の基礎となる理論や概念を論理的に説明する能力を問うために出題した. |

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

# 2026年度 人文科学研究科 博士前期課程
# 9月試験問題：論文
# 心理学分野

・問題は 7 問あります。そのうち 3 問を選択して解答して下さい。

・項目ごとに、異なる解答用紙を用い、日本語で解答して下さい（固有名詞・略語などその限りではありません）。

・解答用紙の「授業科目」欄に、解答する問題番号を必ず記入して下さい。

・白紙で提出する場合も、解答用紙に問題番号と氏名を記入して提出して下さい。

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この問題用紙を持ち帰ってはいけません

# 2026 年度（ 9 月）人文科学研究科 博士前期課程試験問題
## 心理学分野：論文

以下の 7 問から 3 問を選択して答えなさい。問題ごとに異なる解答用紙を用い、解答用紙の「授業科目」欄に必ず問題番号を記すこと。

1. 臨床心理士の 4 つの主な業務について説明しなさい。また 4 つの業務の共通点をあげ、臨床心理士は何をしていると言えるのか論じなさい。

2. オープンクエスチョン（開かれた質問）の役割や長所・短所について、具体的な支援場面を例として挙げて論じなさい。

3. アタッチメントと精神病理の関連について論じなさい。

4. 重回帰分析における分散説明率と因子分析における共通性の関係について説明しなさい。

5. 空間知覚について、奥行き手がかりの点から論じなさい。

6. 意味記憶の活性化拡散モデルを説明しなさい。その上で、DRM パラダイムによる虚再生または意味プライミングを説明し、活性化拡散モデルの点から論じなさい。

7. 潜在的態度と顕在的態度について、それらの態度の測定法を含めて、説明しなさい。

# ２０２６年度　東京都立大学大学院
# 人文科学研究科　入学試験
# （９月入試）

| | |
|---|---|
| 教室名（分野名） | 心理学・臨床心理学　教室 |
| 課程 | 博士前期課程 |
| 試験区分 | ☑　一般学生<br><br>□　外国人特別学生（留学生） |
| 試験科目名 | 英語 |
| 出題の意図 | （1）心理学および臨床心理学の英文実証文献を読解するために必要な，専門知識や統計的知識を持っているか問うため，英語の語彙力および英文を論理的に把握する能力を問うため，出題した.<br><br>（2）心理学および臨床心理学の英語文献を読解すために必要な専門知識と英文の文意をつかむ能力および語彙力を問うために出題した. |

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

# 2026年度（9月入試）人文科学研究科

# 心理学分野・臨床心理学分野

# 博士前期課程　試験問題：英語

設問は2問あります

解答には、それぞれ別の解答用紙を用いてください

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

この問題用紙は持ち帰ってはいけません

（1）つぎの英文を読み，問1から問5に答えなさい。解答はすべて心理総合英語解答用紙に記入すること。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Niehuis, S., Davis, K., Reifman, A., Callaway, K., Luempert, A., Oldham, C. R., Head, J., & Willis-Grossmann, E. (2022). Psychometric Evaluation of Single-Item Relationship Satisfaction, Love, Conflict, and Commitment Measures. *Personality and Social Psychology Bulletin*, *50*(3), 387-405. https://doi.org/10.1177/01461672221133693 (Original work published 2024) より一部改変

著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

**設問**

問1　Test-retest reliability とは何か、どのような目的で検討されるのかについて説明しつつ、「***Test-Retest Reliability.***」のセクションで述べられている結果について説明し、その結果の解釈について述べなさい。

問 2　Convergent Validity とは何か、どのような目的で検討されるのかについて説明しつつ、「***Convergent Validity.***」のセクションで述べられている結果について説明し、その結果の解釈について述べなさい。

問 3　Concurrent Criterion Validity とは何か、どのような目的で検討されるのかについて説明しつつ、「***Concurrent Criterion Validity.***」のセクションで述べられている結果について説明し、その結果の解釈について述べなさい。

問 4　Predictive Criterion Validity とは何か、どのような目的で検討されるのかについて説明しつつ、「***Predictive Criterion Validity.***」のセクションで述べられている結果について説明し、その結果の解釈について述べなさい。

問 5　今回の結果は 25 行目から始まる下線部を引いた著者らの仮説をどの程度支持するものであったか。その根拠を示しつつ説明しなさい。

設問は以上です。

（２）つぎの英文の要旨を、400 字以内の日本語でまとめなさい。解答はマス目のある解答用紙に記入すること。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Hurt, A. E. (2021). Want to improve your reading skills? You might just need more space. *Science News Explores*. Retrieved August 21, 2025, from https://www.snexplores.org/article/dyslexia-letter-spacing-improve-reading-skills-speed（一部改変）

下書き用紙